

2009年1月～2024年8月に当院で肺カルチノイドの手術を受けた患者さんへ

研究課題名 「当院における肺カルチノイド手術症例の検討」の実施について

1. 本研究の意義および目的

肺カルチノイドは神経内分泌腫瘍の一種であり、定型カルチノイドと異型カルチノイドに分類され、異型カルチノイドの方が予後不良とされています。現在の一般的治療方針は、切除可能症例に対しては外科的切除となっている。特に異型カルチノイドについては肺葉切除が標準治療と考えられるのに対して、定型カルチノイドでは異型カルチノイドと比べてリンパ節転移の可能性も低く、十分な切除断端が確保出来れば、縮小手術を検討するべきと考える。非小細胞肺癌の手術も肺葉切除に代わり区域切除が積極的に選択される方向に移行しつつある。肺カルチノイドにおいても術前に定型と異型の鑑別がつけば積極的に縮小手術を選択する妥当性が担保できる。

2. 研究の方法

当院で2009年1月から2024年8月の間に手術を施行した肺カルチノイド症例について、年齢、性別、カルチノイドの種類、腫瘍径、占拠部位、気管支鏡による生検などの術前診断の有無、腫瘍マーカー、PET検査のSUVmax、術前術後のステージ、術式、再発の有無、予後などのデータを診療記録より取得し検討する。

3. 試料等の保存および使用方法について

集積した資料は施錠可能な保管庫で保存し、本研究以外で使用することはありません。

4. 研究全体の期間と予定症例数

研究期間は当院倫理審査委員会承認後～2030年12月、症例数は15例です。

5. 研究結果の公表について

本研究の成果は国内外の学会および学術雑誌で発表いたします。

6. 研究の開示について

この研究について、さらに詳しい内容を知りたい場合は、他の患者さんの個人情報保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で、研究計画、方法および結果についての資料を見ることができます。希望される場合は、担当医師にお伝えください。

7. 個人情報に関して

研究に利用する情報には個人情報が含まれますが、お名前、住所など個人を直ちに判別できる情報は削除し、研究用の番号を使用します。また、研究用の番号とあなたの名前を結びつける対応表を作成し、研究責任者が責任をもって適切に管理致します。研究成果が発表される場合にも個人を直ちに判別できるような情報は利用しません。

8. 本研究への参加を拒否する場合

本研究への参加を拒否される場合は、研究対象から除外いたします。下記(10)連絡先までご連絡ください。

9. 研究機関、研究責任者および研究者

【研究機関】 山口宇部医療センター

【研究代表責任者】 井野川 英利

10. 連絡先

〒755-0241 山口県宇部市東岐波 685

山口宇部医療センター 呼吸器外科 井野川 英利

TEL: 0836-58-2300 FAX:0836-58-5219